

## 競技規則改訂とその運用について

### 1 自由形

ゴール直前、頭の一部が5 mのマークを過ぎれば、ゴールタッチ時に体が完全に水没してもよい。

### 2 バタフライ

ゴール直前、頭の一部が5 mのマークを過ぎれば、ゴールタッチ時に体が完全に水没してもよい。

※1、2共に背泳ぎ6.3と同じです。

### 3 400m、800m、1500mの個人自由形競技では、スタート側の折返監察員は、スタート側の最終折り返し5 m前に泳者が達したときから、折り返し後5 mに達するまで、注意を喚起する合図を振鈴によって行う。

※400m自由形が加わりました。水中ラップカウンター、周回板の運用も800m自由形、1500m自由形の運用に準じます。

その他何点か変更がありますが、全国競技委員長会議にて報告させていただきます。以上3点の規則変更を、3/19-3/22日本選手権で、適用いたします。

今後、各加盟団体で開催されます競技会においても、適宜適用させていただきますよう、よろしくお願いいたします。

新しい規則・手引きの作成につきまして、以前はWorld Aquaticsは4年に一度のCongressを経て、競技規則改定を行ってきましたが、今後はそれに縛られず、適宜改訂が出て来る可能性があります。

今後、規則・手引きの作成について、どのようにするかについては、全国競技委員長会議にて、指針を示すことができると考えております。

ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

以上